

重点施策と主な事業

暮らし・教育のまちづくり

・教育 ICT 活用事業 3 億 9,052 万円
市立学校で ICT を活用し、児童生徒一人一人に合った学びと、考えや答えを共有し、学び合うための取り組み

安心・快適・都市力のまちづくり

・中心市街地再整備事業 1 億 1,677 万円
市街地の活性化と都市環境や防災の課題改善のため、JR 久留米駅前第二街区の再開発を支援

地方創生、経済成長・雇用のまちづくり

・バイオ産業振興事業 1 億 3,047 万円
バイオベンチャー企業の創出、育成を促進。西日本で唯一となる、地域バイオコミュニティの認定を取得

・待機児童対策事業 5,542 万円
保育士の雇用費用の助成や就職支援、送迎保育ステーションを拠点に、バスによる周辺保育所への送迎を実施

・中央図書館 Z E B 化事業 2 億 6,512 万円
既存の公共図書館では、全国初の「ZEB Ready」(設計時の基準一次エネルギー消費量を 50%以上削減)の認証を取得

・将来を担う農業者育成事業 6,179 万円
次世代を担う農業者の育成・確保や多様な人材活用の取り組み



ICTを活用した授業に取り組んでいます

特別会計決算の状況

区分	金額
国民健康保険事業	歳入 340 億 6,633 万円
	歳出 326 億 7,557 万円
競輪事業	歳入 227 億 8,390 万円
	歳出 221 億 3,055 万円
卸売市場事業	歳入 3 億 4,091 万円
	歳出 3 億 2,617 万円
住宅新築資金等貸付事業	歳入 4,070 万円
	歳出 560 万円
市営駐車場事業	歳入 6,571 万円
	歳出 5,762 万円
介護保険事業	歳入 279 億 2,201 万円
	歳出 276 億 1,941 万円
農業集落排水事業	歳入 2 億 6,821 万円
	歳出 2 億 5,725 万円
特定地域生活排水処理事業	歳入 2 億 1,072 万円
	歳出 1 億 9,898 万円
後期高齢者医療事業	歳入 45 億 1,966 万円
	歳出 44 億 1,892 万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	歳入 2 億 4,061 万円
	歳出 6,053 万円
産業団地整備事業	歳入 5,722 万円
	歳出 5,722 万円

公営企業会計決算の状況

区分	金額
水道事業	収益 46 億 8,293 万円
	費用 40 億 9,043 万円
下水道事業	収益 73 億 6,845 万円
	費用 66 億 339 万円

新たな事業を追加
令和3年度から、産業団地整備事業特別会計を新たに設置しました。自動車や食品、バイオ・医療関連分野をはじめとした地域経済を支える産業の集積を進め、雇用創出につながる産業団地の整備が目的です。
◎財政課 (☎0942・30・9117、FAX0942・30・9703)

安定した供給体制の強化
水道事業は、古くなった配水管の更新・耐震化などを行い、安全で安定した給水体制の強化に取り組まれました。下水道事業では、未普及地域の整備や、処理場やポンプ場の老朽化対策・耐震化を実施しました。
◎上下水道部経理課 (☎0942・30・8506、FAX0942・30・8570)

特別会計



公営企業会計

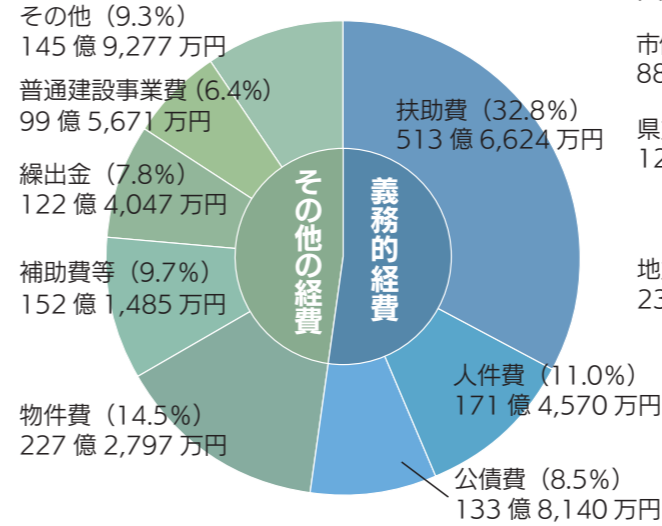


令和3年度決算報告

「市民生活を守る」を第一に

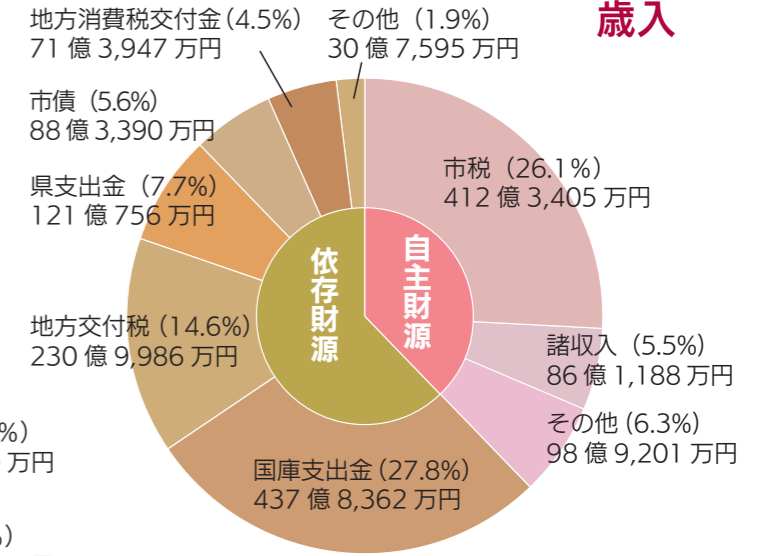
令和3年度の一般・特別・公営企業会計の決算議案は、10月14日に最終日を迎えた市議会で認定されました。決算状況と主な取り組みを報告します。

歳出



総額 1,566 億 2,611 万円

歳入



総額 1,577 億 7,830 万円

一般会計

歳入歳出ともに減少

令和3年度は、複数回、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出されたほか、8月には4年連続の大雨による被害などが発生しました。市民の生命と財産、健康を守るため、13回の補正予算を編成し、感染症対策や災害復旧に、重点的に取り組みました。

一般会計の歳入は、1577億7830万円の前年度から約126億円、7.4%の減少。歳出は、1566億2611万円、約124億円、7.3%の減少となりました。これは、令和2年度に約306億円の特別定額給付金事業が実施されたことによるものです。歳入から歳出を差し引くと11億5219万円、令和4年度への繰り越しを除いた実質収支は、7億8056万円のプラスとなりました。

市債・基金の残高

市債の残高は約1374億円で、



令和3年度の大規模な大雨災害で、ビニールハウスが浸水する被害が発生しました

令和2年度より約40億円減少しました。背景には、市債借入額が前年度より32億円減少したことや、合併特例債の償還が進んだことがあります。
令和3年度末の基金残高は、222億円。基金残高は家庭の預貯金に当たります。将来の市債返済に備えて、増額された地方交付税を活用して減債基金に積み立てを行ったこともあり、前年度から約30億円増加しました。
◎財政課 (☎0942・30・9117、FAX0942・30・9703)